

(六) 麻生委員長七八選挙費調達

麻生委員長七八選挙費調達を調達するたりに、
寺崎産業の内蔵子たる誰若剛美の短冊を去り歩いたるが
既に八十円を作った。

選挙場種々相

◇ 飛電あり

各選挙事務所もさる事ながら、本部の政上の窮乏も甚
だしい。この度いりに加藤勘十候補から寄附した賞のた
儀の本炭を大事にうに燃やしてゐる。たか、ゆも愈
よ心細く不った折板、隙にさる雪を真かささかど眺めを
ると浅原健三候補より飛電あり、曰く日本部費の内十拾円
送る。

沿道に五木か、新興の河野か。

〇 真新中組合我党應援決定

真新中組合は政治部委員合に於て我党想投と決し、組合
員は二公の我党候補者に投票する事と決めた。

〇 荒谷候補の事務所決定

遷知果系一七茶巻案之候補(事務長 横井忠義)の事務所
所は在り如くである。

若古屋新道也山百町三十一

高日、伊藤、横山、吉田の瀬戸市会
木、如藤、代善約二十名である。根在、山本、西浦、鈴

〇 如藤代善の事務所決定

(東京大正五年) 事務所が先小、出来得る限
事務所を立輪